

# 世界的なリスクオフはいつ収束するのか？



シニア・ストラテジスト 石黒英之

## ポイント① 世界的なリスクオフの流れ続く

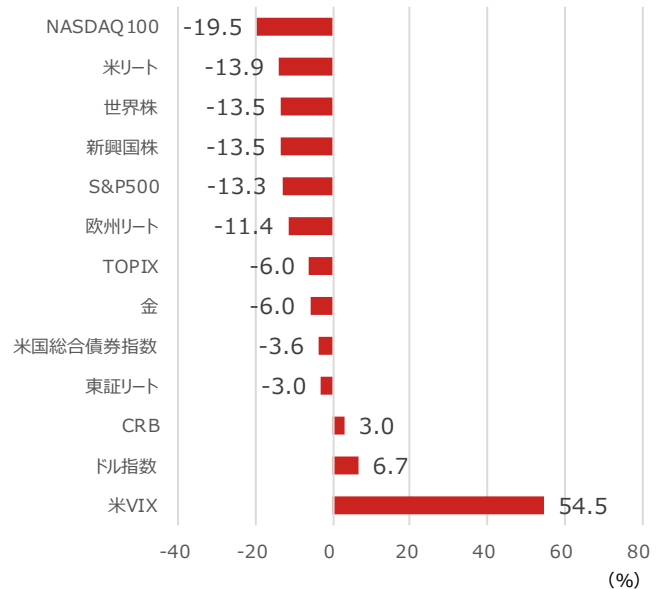
3月末以降、世界的なリスクオフの流れが続いています。主要指数の3月末比騰落率をみると、ハイテク株主体のNASDAQ100を筆頭に株式、リートなど幅広い資産が売られています。米金融引き締めに伴う金利先高観もあり、通常リスクオフ時に安全資産として買われる傾向がある金や米国債券（直近では値を戻しつつあります）までもが3月末比で売られているところをみると、不確実性の高い市場環境を避けるための換金売り圧力が投資家の間で強まっているとみられます（右上図）。

## ポイント② いつ換金売りは収束するのか？

足元では、①ロシアによる軍事侵攻長期化への懸念、②中国の厳格なゼロコロナ政策に伴う同国景気の失速・供給網混乱長期化への懸念、③米利上げ加速による米景気の先行きへの懸念などが、市場の不安心理を高めているとみられます（右下図）。①は長期化の様相を呈しつつありますが、②は都市封鎖が続く上海での新規感染者数の減少が伝わるなど改善方向に向かっているとみられます。③も4月の米消費者物価および生産者物価指数の前年同月比上昇率が鈍化し始めるなど、インフレ高進に一服の兆しも見え始めました。

2つの懸念が和らいでいく可能性が出てきたことは支援材料です。7月には日米企業決算が予定されており、②が4-6月期の企業業績に与えた影響が明確となることで、業績への不透明感が後退する可能性があります。米物価指標の5月、6月分も連続でインフレ鈍化となれば、米金融引き締めに対する過度な警戒が和らぐとみられます。7月以降に市場の潮目が変わる兆しが出てくると想定するならば、それに備えるのも一手といえるのではないのでしょうか。

主要指数の3月末比騰落率



期間：2022年3月31日～2022年5月12日

・米リートはMSCI米国REITインデックス、世界株はMSCI All Country World Index（米ドルベース）、新興国株はMSCI Emerging Markets Index（米ドルベース）、欧州リートはFTSE EPRA Nareit Developed Europe REITS Index（ユーロベース）、米国総合債券指数はBloomberg US Aggregate Bond Indexを使用  
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

## S&P500種株価指数と米VIX（別名恐怖指数）



期間：2015年1月2日～2022年5月12日、日次

・VIXとは米シカゴ・オプション取引所が、S&P500種株価指数を対象とするオプション取引の変動率を元に算出、公表している指数。一般的にVIXの数値が高いほど、投資家の先行き不透明感が強いとされる。

（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

\*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。